

## 支え合うきよせ委員会（清瀬市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体）

## 第 5 回 支え合いバックアップ部会（B 部会）記録

日時	平成 30 年 8 月 24 日(金) 13 時 15 分～14 時 30 分	場所	清瀬市役所第 1・2 委員会室
出席者	柳原部会長、星野副委員長、羽田委員、近藤委員、久世委員 生活支援コーディネーター：森、鈴木（本日本会あり。鍵和田、原田は A 部会へ） 清瀬市：上垣、		
欠席	内野委員、村田委員、濱田		

## 1 前回振り返り

- ・前回の振り返りは、本会にて実施したためここでは割愛。

## 2 意見交換会・支え合い体験会について

## &lt;支え合い体験会&gt;

- ・9/8（土）竹丘南自治会にて支え合い体験会を開催。1 部でココカラファインによる骨密度測定実施で現在 22 名の参加予定。2 部で支え合い体験会実施で、現在 21 名の参加者でこちらは人数締め切り。
- ・当日スタッフは、各 CO や市事務局、信愛 2 層協議体メンバーや民生委員など合計 19 名。
- ・今回の体験会を通じ、信愛地区の 2 層協議体へつないでいきたい。また、地域づくりに興味のある方は、協議体の構成員だけではなく、協力員の形も取っていきたい。
- ・当日は、旭が丘団地自治会より 2 名参加し「たすけあい旭」の活動状況、市内の生活支援サービス団体の紹介も行う。

## &lt;意見交換会&gt;

## 【ゴミ出しについて】

- ・JKK などに入居する際に、JKK よりゴミ出しのルールを入居者にきちんと話しているのかを CO より確認していく。

## 【JKK の空き部屋について】

- ・空きが出た際も、しばらく入居しないで空室が続いていることがあるがなぜか？  
→退去してから室内のクリーニングなどがある。空室がでた居室はまとめてクリーニングしている実態もあること委員より情報あり。  
→都内での自然災害が発生した時を想定し、都営を空けておくこともある。三宅島の噴火の際には緊急で都営が使用されたケースもあること委員より情報あり。

## 【自治会費未納について】

- ・近隣の自治会では草むしりなどの活動に参加しない住民については、協力金という形で参加してもらう方法を取り入れうまくいったケースがある。この際、罰金という名目は抵抗があるため、環境美化協力金などの名称が望ましい。
- ・自治会としては、金銭で解決するのではなく住民が自分のこととして参加することを望む声もある。

## 【外国人のゴミ問題について】

- ・外国人もごみの出し方をただ知らないケースもある。会って話し、わかり合えればクリアーできることもある。個別に訪問するなどして対応してうまくいったケースもある。

## 3 2 層協議体立ち上げについて

- ・各圏域で取組み状況に違いがあるが地域の実情に応じ、また優先順位をつけながら立ち上げに向け取

り組んでいる。

#### 4 空き家・空きスペースの活用について

- ・資料「空きスペース情報募集 HP掲載事項(案)」をもとに協議。
- ・⑤活用までの流れについては、介護予防や社会参加の言葉を入れた方が良いのではないか。
- ・②提供者側のメリットについては、提供者側も地域に貢献している内容も記載しても良いのではないか。
- ・広報については、市や支え合うきよせ委員会のHP・COが作成するイベントのチラシの空きスペースなど意見あり。

#### 5 次回検討・検討ケース

- ・資料「H30年度支え合うきよせ委員会構成」について確認。
- ・今までの取組みで、手をつけていない所を検討していきたい。
- ・キの3プロボノ活用については、会社のノウハウを提供してもらうことや戦略の立て方などを活用できる可能性があり。鍵和田にて情報収集中。
- ・クの活動場所・資金の創出について初期費用や活動資金の集め方について進めていっても良いのではないか。次回B部会までに各自で情報を持ち寄る。

#### 6 今後の開催予定

##### (1) 次回B部会

9月25日(火) 中清戸地域市民センター 第二会議室 13:15~14:30

NO	宿題	締め切り	やる人
1	活動場所・資金の創出について初期費用や活動資金の集め方の情報	9/25	B部会委員